

#### 障害者雇用の沿革

旅行会社JTBの障害者雇用促進のために、特例子会社として1992年10月に設立。当初は10名の障害者を雇用し、JTB関連のデータ入力などの業務を行う。その後も新卒社員を中心に障害者の雇用を増やし、パソコンを使用したさまざまな業務や旅行のサポート業務など、事業の拡大を図る。さらに、障害のある社員がJTB本社や営業本部などで働く「駐在勤務」を積極的に行っており、障害者が健常者とともに働くための教育や環境づくりを支援している。

## 障害のある社員とない社員が ともに戦力として活躍する 職場をめざしています。

▼ 駐在勤務としてJTB本社や支店などに駐在勤務する社員から、職場や仕事の様子について話を聞く三田久郎社長(左から2人目)と柳川敬子総務部次長(左端)。



### 「駐在勤務」によって ノーマライゼーションを推進

現在雇用している77名の障害のある社員のうち、JTBデータサービス本体に勤務している社員は28名。そのほかの社員は、JTB本社・営業本部・支店・グループ会社に分かれて勤務しています。障害のある社員が同じ職場で働くのではなく、一人ひとりが異なる職場で、健常者とともに戦力となって働くこと。それにより、職場におけるノーマライゼーションを実現させたい。そんな願いから、この「駐在勤務」という勤務形態に熱心に取り組んでいます。

首都圏だけでなく、遠くは九州の支店まで、約40ヶ所で駐在勤務が実施されています。駐在勤務社員の主な仕事は、パソコンを使った旅行関係のサポート業務ですが、なかには、作成した団体旅行の企画書を健常社員と同行してセールスするという活動的な社員もいるそうです。「働きやすい勤務地で、本人が

来客を知らせるワイヤレス式のお知らせランプ。入り口でボタンを押すとライトが点滅します。▼



▲ 左から 海老小霧課長と星さん。

希望する仕事につくことが、仕事へのモチベーションを高め、定着率を高めることにつながります。また、職場では指導する社員をつけるなど、孤立しないような配慮をしています。」と三田久郎社長は言います。

所在地：東京都文京区

事業内容：データ入力処理、各種資料作成、ホームページ・名刺等作成 ほか

従業員数：103名

雇用障害者数(人数)：77名

## きめ細かい個別の対応で 職場定着を図る

「障害のある社員への対応で最も大切なのは、本人が職場でどんな状況にあるのかを、いかに早く把握するかということです」と三田社長。そのため、目の届きにくい駐在勤務社員には、仕事の成果や悩みなどを毎月の報告書としてメールで送ってもらっています。仕事以外のことでもメールで自由に相談できるようにしてきました。「メールのチェックは、私の日課です。毎朝、何通か入りますが、なるべくその日のうちに返事を出すように心がけています」と三田社長は言います。

自ら職場へ出向いて相談にのることもあるという三田社長ですが、問題がなくても、年に2~3回は駐在勤務社員がいるすべての支店を回ります。本人との面談だけでなく、障害者を受け入れた経験のない支店などに、ノーマライゼーションを理解してもらう良い機会となるからです。特例子会社として障害者を雇用するだけでなく、いろいろな職場に障害者とともに働く環境づくりを定着させていくことも、JTBデータサービスの大切な仕事になっています。

社員からのメールチェックが日課という三田社長。



## 社会人として成長してもらうため 指導すべき点はしっかり指導を

特例子会社の場合、最も重要なポイントは、「親会社の理解度の深さ」と三田社長は言います。また、同じ障害を持つ人々が集まった場合、「障害者同士で対立する場合もある」と話します。お互いのコミュニケーションがとりやすい分、個性がぶつかり合うことがあるのだそうです。特例子会社で、障害者同士を一カ所に集めればうまくやっているといた先入観は禁物です。

JTBデータサービスでは、障害のある社員を雇用する際、仕事の能力だけでなく、協調性があるかどうかにも重視します。また、入社した社員には「社会人のマナー」をしっかりと指導します。一般に障害者の場合、育ってきた環境により個人差が大きいいため、社会生活を円滑に進めるためのマナーが十分でない人もいます。「足りない点は、コミュニケーションを円滑にするためにもきちんと教えてあげなくては」と言うのは湯島営業部・パソコンチームで11名の障害を持つ社員を統括する海老小霧(えびさざり)課長。社会人として成長してほしいからこそ、厳しい指導も時には大切なのです。

湯島本社に勤務する約半数以上が障害のある社員です。湯島営業部では、データ入力処理、データ集計・分析など、主にパソコンを使用した業務を行います。



時計(右)のチャイム音を感知して点灯するストロボランプで、聴覚障害者に時刻を知らせます。

## この職場と出逢って...



星 宏明さん

29歳 聴覚障害  
湯島営業部リーダー

入社してすぐに駐在勤務で働きました。人間関係など悩みが多く、会社を休むなど、迷惑をかけてしまいました。1ヶ月ほど休みをもらい、その後は湯島営業部で一生懸命仕事をし、いまは仕事も順調で、働くことがとても楽しいです。新しく入社する人には、私のような失敗を繰り返さないよう、先輩としていろいろと教えてあげたいです。



八木 清明さん

29歳  
聴覚障害  
JTB広報室(駐在勤務)

広報室での私の仕事は、JTBに関する新聞や雑誌の記事をピックアップし、全国のJTBに報告する資料作成などです。以前、別の会社にいたときには、人間関係がうまくいきませんでした。この会社では人間関係も良好で、仕事も楽しく、入社して本当によかったと思っています。コミュニケーションも、いまはまったく問題ありません。



丸谷 有香さん

21歳 聴覚障害  
JTB国際旅行事業部  
商品企画課(駐在勤務)

国際旅行事業部に障害者が勤務するのは、私が初めてだったそうです。最初のうちは、苦労したこともありましたが、いまは長い説明はメールや筆談を使ってくれるなど、まわりの人たちが私の障害のことを積極的に理解してくれて、感謝しています。入社して1年、少しずつ仕事を任せられるようになってきたことが、とても嬉しいです。



長島 俊哉さん

24歳  
下肢障害  
天王洲営業部

JTB本社と同じビル内にある天王洲営業部では、事務用品販売、名刺作成販売、メールセンター業務などを行っており、私は主に名刺作成、リサイクルトナーの販売業務を担当しています。上司・先輩方は、いつでも親身になって接し、指導して下さるので、自然とコミュニケーションもとれ、毎日楽しく仕事ができる職場です。